

受験生の夏休みの過ごし方を考える

- 「3大練習」は、不可能を可能にする -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 夏休みの過ごし方は人によって異なる。
- (2) 受験学年と非受験学年とによって異なる。
- (3) 今日は、来年1月～3月に入学試験を控(ひか)えた受験生の夏休みの過ごし方を考える。

2. 受験生の夏休みの過ごし方

- (1) 受験生としての「自覚」を持つこと。

学習の成果は、本人の自覚によって決定する。

本人がよく「自覚」をしていれば、必ずよい成果は出る。

(ア) 何のために勉強しているのか

(イ) 自分の目標は何なのか

(ウ) 現在の實力はどのくらいか

(エ) この「差(GAP)」はどのくらいあるか

(オ) どのようにしたら、この「差(GAP)」を縮めることができるか

自分の強みはどんどん伸ばす。

自分の改善点はどんどん改善する。

素直な心になって、自分の「強み」と「改善点」を「直視」すること、「自覚」することが大切。

「心構え」をしっかりと持つこと。

- (2) 「学習の3段階理論」をふまえた学習を

学習の3段階理論とは、学習を3つの段階、つまり「うんなるほど」とよくわかる、「理解」する段階、よくわかった内容を身に付ける「定着」の段階、更には合格点がとれるようになる「応用」の段階に分けて、それぞれに合った勉強をすると、学習効果が飛躍的に高まるという考え方を言います。

「うんなるほど」と十分「理解」していない内容をいくら覚えようとしても、また、暗記しても、あまり意味はない。まして「理解」や「定着」もしていない内容について「応用問題」をいくらやっても得点力は身に付かないという、ごく当たり前のことを言い表したのが学習の3段階理論。

- (3) 予備校や学習塾での夏期講習の講義、授業、自学自習で「うんなるほど」と十分に納得すること、つまり「理解」することが大事。

8月前期までの夏期講習やお盆特訓、8月後期の夏期講習に申し込んだ人は、必ず全日程の授業

に、休むことなく出席をして、十分「理解」して下さいね。

講習会でよく終わらなかった内容は、その日の内に自分でしっかりと勉強して十分に「理解」してしまいましょう。よくわからないところがあれば、翌日、予備校や学習塾の先生に遠慮なく質問して、わからないところがないようにしましょう。

(4)講習会の授業や自分で勉強してよくわかった、つまり「理解」した内容は、その日の内に「定着」のための作業、「3大練習」を確実に身に付けてしまいましょう。

夏休みに大幅にテストの点数、つまり偏差値を上げたければ、偏差値を5以上確実に上げたければ、講習会で勉強した内容を完全に身に付けることをお勧めします。

(ア)ノートや講習会の教科書(テキスト)を「音読練習」することで、大切なことを何も見ないでスラスラ言えるようにすること。

(イ)大切な語句やよく書けなそうな語句を、正確に楷書で書けるようになるまで「書き取り練習」すること。

(ウ)解き方がよくわかっていた問題について、もう5～6回「計算・問題練習」をすることで、問題を見た瞬間に条件反射で答えが出せるまでにしておくこと。

この「定着」のための「3大練習」こそが、受験生が夏休みに最も取り組むべき内容です。

(ア)夏期講習会に参加したり、自分で勉強することで、十分「理解」をすることが第1。ただ、これだけでは偏差値はほんの少ししか上がらないのが現実。偏差値5は上がらないのが現実。

(イ)偏差値を5以上、確実に上げるのに大事なことは、講習会で「理解」した内容を3大練習で「定着」させること。

(ウ)「3大練習は、不可能を可能にする」。夏期講習会に参加してよく「理解」した内容について、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」の開倫塾の「3大練習」を繰り返し行えば、偏差値5は確実に上がる。全科目偏差値5アップは、人生の選択肢を大幅に増やす。

3. おわりに

(1)健康第一

受験学年でも大切なのは、健康、つまり心の健康と身体の健康。

(2)暴飲暴食はしないこと。夜は12時前には床に就くこと。朝は7時前には起床。「早寝、早起き、朝ごはん」を心掛けること。朝食で、ごはんやパン、コーンフレークなどの炭水化物を摂らないと、頭の回転がよくなるという考えもあります。

(3)ストレスをためないこと。1週間に1回は楽しいことを。

音楽を聴く

身体を動かす(スポーツなどで)

美術館や博物館、公園など社会教育施設を訪問する

保護者の許可を得てから、映画やコンサートなどにも行ってみる

ただし、「行く場所」「誰に会うか」「帰宅時間」、この3つだけは保護者に伝えること。

以上

開倫塾塾生の皆様へ

- (1) 以上は、毎週土曜日の朝 9 時 15 分から 25 分までの 10 分間、CRT ラジオ栃木放送から放送されている「開倫塾の時間」の 7 月 19 日(土)の放送内容のレジュメ(概要)です。
- (2) ここに書いてあることは、本当のことです。この夏偏差値を 5 以上上げることは可能ですが、そのためには、講習会に出てから、その日に「理解」した内容を「練習、練習、また練習」をして完全に身に付けなければなりません。それには、どんな人でも 3 ~ 6 時間の自習時間が必要です。
- (3) もし、家で 3 ~ 6 時間の勉強時間を確保できない方には、開倫塾の空いている机・いすの無料利用を認めます。保護者の承諾を得た上で、開倫塾の校長先生や担当の先生にご相談下さい。
- (4) この「学習の 3 段階理論」は、上級学校に進学してからも、また、社会に出てからも役に立つ勉強の方法です。ビジネスマンの勉強の方法としても紹介されています。
- (5) CRT 栃木放送「開倫塾の時間」は、「効果の上がる勉強方法」をお伝えし始めて 22 年目に入ります。是非お聴き下さい。また、この番組の速記録は、「開倫塾」のホームページ林明夫のコーナーに順次掲載中です。是非ご覧下さい。